

2026 年 6 月 9 日

法人口座を狙ったボイスフィッシングの新たな手口にご注意ください

他の金融機関において、法人インターネットバンキングを狙ったボイスフィッシングによる不正送金被害が立て続けに発生しており、近頃は、パソコンの遠隔操作を組み合わせた手口が確認されています。不審な電話・メール等に対しては、誘導された操作を絶対に行わないようご注意ください。

1 詐欺の手口

- ・ 自動音声で連絡があり、応答すると有人に切り替わる（最初から犯罪者が有人の電話をかけてくるケースもある模様）
- ・ 有人対応に切り替わった後、電子証明書やウィルス対策ソフトの更新、取引制限の解除等を口実にログイン情報やメールアドレスを搾取
- ・ 金融機関を装ったメールで送られてきたリンクをクリックすると、意図しないうちに遠隔操作ソフト等のインストールが行われる
- ・ インストール後、「システム更新中」等の画面が表示され、処理が継続されているように偽装された裏側で、遠隔操作により不正送金が実行される

2 お客さまへのお願い

JA よりお客さまに対して、ネットバンク取引にかかるお客さまのログイン ID・暗証番号・パスワード・メールアドレス等を聴取することはございません。以下の対応により被害に遭わないようご注意ください。

- ① JA 担当者を名乗る者から電話があった際は、お取引に必要な情報を回答せず、担当者の部署・氏名等を聞いたうえ、（案内された折り返しの連絡先ではなく）JA の代表番号から担当者に連絡するなど、慎重に対応すること。
- ② メール等に記載されているリンクをクリックしたり、QR コードを読み取ったりして、案内されたサイトにアクセスしないこと。
- ③ お取引の申請者と承認者とで、可能な限り異なるパソコンを利用すること。

万が一、電話でログインに必要な情報を回答したり、不正サイトに情報を入力したりしてしまった場合は、緊急時のセキュリティ対策として、ユーザ単位で利用停止がお客さまの端末で操作可能です。操作方法でご不明点等ございましたら、法人 JA ネットバンクヘルプデスクにお問い合わせください。

不審な電話を受けた場合や被害に遭われた場合は、お客さまの所在地管轄の警察署およびお取引 JA までご連絡ください。

リンク先を設定

https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/R8_Vol.6cpal.pdf

警察庁が発行している「[サイバー警察局便り（2026Vol.6）](#)」も併せてご参照ください。

（※）ユーザ単位での利用停止の操作方法は「[よくあるご質問・企業管理・ユーザ管理 Q18](#)」
をご参照ください。

リンク先を設定

https://www.houjinnet.jabank.jp/faq/#faq_ca07

本件に関するお問い合わせ先
法人 JA ネットバンクヘルプデスク
フリーダイヤル：0120-058-098
お問い合わせ時間：平日 9:00～18:00



サイバー警察局便り

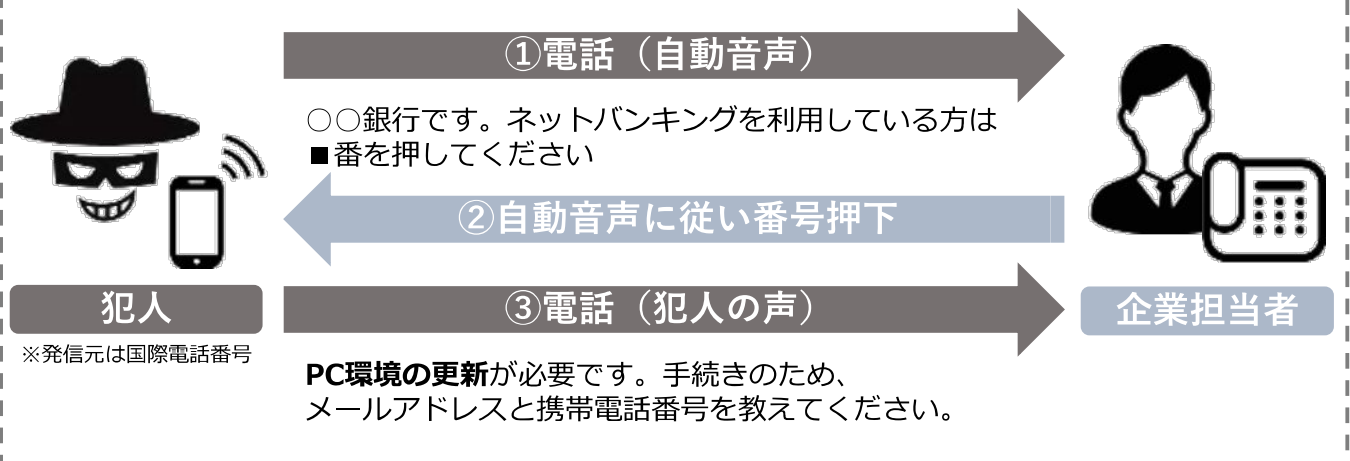
Cyber Police Agency Letter 2026 Vol.6 (R8.6)

巧妙化する「ボイスフィッシング」被害に注意

遠隔操作ソフトを悪用した手口が新たに発生

ボイスフィッシングによる法人口座を狙った不正送金被害が手口を変えて再発

※ 架電イメージ



- I. 偽メールのリンクをクリックさせ、「セキュリティ強化のためのソフト」と称する**遠隔操作ソフトをインストール**、企業側の端末を遠隔操作
- II. SMSのリンクをクリックさせて偽サイトに誘導、ネットバンキングのID・パスワードを窃取
- III. Iの遠隔操作している企業端末に偽の画面（「システム更新中」等）を表示その間にIIのID・パスワードを悪用して不正送金を実行

被害を未然に防ぐために社内で徹底！

- 銀行をかたるメールやSMSに記載のリンク等へのアクセスは禁止
- 銀行から電話があれば、営業店・代表電話に折り返し、本物かどうか確認



詐欺電話対策として“国際電話着信ブロック”もあります

みなでとめよう!!国際電話詐欺 ➡ <https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/international-phone/>

もしも、被害に遭ってしまったら警察に通報・相談を！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口 ➡ <https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>

